

はつらつ花巻東高 栄光の足跡

平成23年度



待ちに待った新制服で、いよいよスタート

東日本大震災の余波の残る中、希望の春を感じさせるまばゆく輝く新制服に身を包んだ新入生の入学式が挙行された。

新制服とともに花巻東高生には、心新たな希望の光となって欲しい。そして今後の岩手の未来に、東北の将来に明るく大きく貢献してくれるであろうことを期待したい。



被災地支援に、トイレ掃除を実施する

5月1日(日)、岩手掃除に学ぶ会・花巻市倫理法人会や一般の方々の協力を得て、バレーボール部女子による「第7回 花巻東高等学校トイレ掃除に学ぶ会」が、被災地釜石の避難所等4ヶ所で実施された。

一心不乱に便器を磨くことで、あらゆる困難や汚いもの、そして悪からも目を背けない精神力と謙虚さを学ぶとともに、一日も早い復興を願った。



自転車セーフティーリーダーモデル校の指定を受ける

本校では、ほぼ半数の生徒が自転車を利用し、通学している。

このほど本校は、自転車の走行ルールを守った安全使用と、盗難被害防止策として2重ロック徹底の推進を目的とした「自転車セーフティーリーダーモデル校」の指定を受けた。

5月9日(月)には、朝7時半から本校交通安全委員が、花巻警察署員・花巻地域交通安全推進員の方々と、啓蒙活動を実施した。



淵澤能恵女史について、今明かされる

本校の国際理解週間のメイン行事として、「第2回 国際理解セミナー」が、5月30日に開催された。講師は岩手県立大学教授の姜奉植先生で、韓国女子教育の礎となった教育者淵澤能恵について講演された。淵澤女史は花巻市石鳥谷町出身であるが、その功績はあまり知られていない。講演会を経て、郷土の偉人への顕彰を忘れてはならないことを学ぶ契機ともなった。